

その2 市民相談室

大館市に「市民相談所」が設けられたのは昭和37年5月、このときは、市民課内の仕事として市民の苦情や要望を処理してきました。

その後、市民相談所も、市民に奉仕する最先端の場所であるという考えのもとに、昭和39年2月28日をもって、市民課から分離し、「市民相談室」として独立しました

独立後は、市の行政に市民の考えを伝える重要なパイプとして大きな役割をはたしています。

市民相談室の業務としては、

- ◎市民からの陳情の受付と処理
- ◎市民1人1人からの行政上の苦情、要望意見などの処理
- ◎市庁と庁内各課との連絡
- ◎交通安全の啓蒙
- ◎防犯

などがあげられますが、この業務を久米王主査のほか、三ツ井主事、斎藤主事の3人でおこなっております。

とくに、相談の対応にあたっては、相談内容を正確に判断し、正しく説明しながらすみやかに解決するように努めておるため、最近では利用者も多く相談室でもうれしい悲鳴をあげています。

ちなみに、40年度中に受けた相談

の件数を調べてみますと、件数にして630件もありました。

しかし、この件数は直接相談室に来て相談を受けた件数であり、このほかに電話などで受けた相談も入れると、昨年中の件数は1,000件にも達すると市民相談室ではいっています。

では、どんな内容の相談が持ちこまれているかを調べてみますと、一ばん多いのが道路、測構の問題でこれが全体の35.5%をしめており、このつぎに多いのが税金の問題で、これが4

%,あとはゴミ処理などの相談となっています。

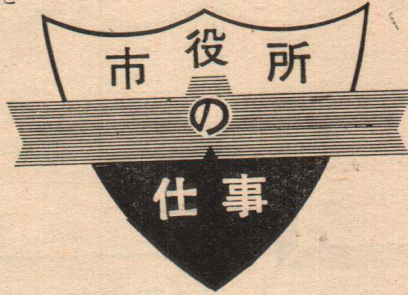
このような問題も昨年では95%も解決されており、これからも市民に親しまれる相談室にするため努力を重ねています。

とくに、ことし

は、即決主義をとり道路、測構などの苦情に対しては直接現地に出むかって解決にあたり相談におとずれる市民のかたがたには大変好評を得ています。

- ◎市民サービスを第一に――
- ◎血のかよった相談室に――
- ◎きめこまやかに市民の声を聞き、これにこたえる相談室に――

これが久米田主査の目標であり、この目標のもとに相談室では、心よく市民のご要望、ご意見などをお受けすることになっています。どうぞお気軽においでくださるよう市民相談室ではお待ちしています。



あぶない!

線路上でのあそび

秋田鉄道管理局の調べによりますと40年度内に子どものいたずら(線路上へ置物、置石など)によって起こった鉄道事故が67件も発生しております。さいわいに、大館市附近の沿線では、このような鉄道妨害事故は発生していませんが、昨年10月31日に子どもが線路へ置石したために、富根～二ツ井間で貨物列車が脱線し線路が不通になったという事故が発生しております。

このように、線路上で子どもをあそぼせることは非常に危険なことです。もし、一つの石ころで何百人もの尊いいのちを失なうようなことにでもなればこれこそ大変なことです。

そのためにも、皆さんの子どもさんを線路で遊ばせたり、線路を歩かせたりしないよう、くれぐれもご注意ください。さようお願いします。(大館駅)



③ 薬物中毒の応急手当

- ◎のみこんだ直後なら、割りばしを5～6本ガーゼにまいて、これを歯と歯の間にはさみ、指をのどの奥につっこんむと吐きだします。
- ◎濃い食塩水を大量にのませたり、石ケン水でうがいをさせても反射的に吐きだします。
- ◎応急処置が終わったらすぐ病院につれていきます。

これによると、129の組合のうち100%完納していただいたのが62組合もありました。

また、組合全体の収納率も39年より2.3%も上まわる93.7%という良い成績をあげています。

納税貯蓄組合納付状況調

| 区分 順位 | 地区別 | 収 納 率 | | |
|----------|-------|-------|------|------|
| | | 40年度 | 39年度 | 38年度 |
| | | % | % | % |
| 1 | 下川沿 | 99.5 | 98.9 | 96.8 |
| 1 | 二井田 | 99.5 | 99.5 | 99.2 |
| 2 | 真 中 | 97.3 | 97.1 | 96.4 |
| 3 | 長 木 | 97.2 | 97.4 | 97.0 |
| 4 | 釈 迦 内 | 95.1 | 96.0 | 95.8 |
| 5 | 十二所 | 94.6 | 92.6 | 92.2 |
| 6 | 上川沿 | 93.4 | 93.3 | 92.5 |
| 7 | 旧大館 | 89.4 | 86.8 | 93.0 |
| 計 | | 93.7 | 91.4 | 94.5 |

新卒の働く年少者を励ます会

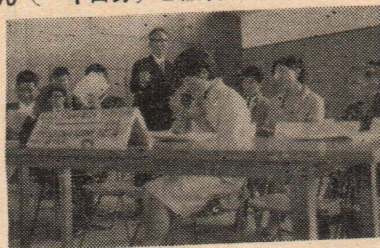
今春、新しく社会の仲間入りした働く年少者を励ます会が、さる5月27日市民体育館で行われました。

この日、中学、高校卒で市周辺に就職した若い人たちが約200人集まり、主催者側のあいさつと佐藤市長の祝辞につづいて、新卒者の秋元ひろ子さんと先輩の佐藤誠子さんが職場の感想発表をしたあと、フォークダンスなどで楽しい一日を過ごしました。

また、この日は大館電報電話局のご好意により「声の交換」が行われ、日立武蔵野工場と日本容器印刷に就職した方々と、この日集まった学校関係や友人、家族の方々と間に声の交換があり、お互いに元気でがんばろうと誓いあっていました。

そして、お祝いに贈られた100円入りの貯金通帳と記念品をもって、希望に満ちたまなごしでそれぞれの職場へ帰って行きました。

(写真、日立武蔵野工場の石川洋子さん(一中出身)と話合う友だち)



『下川沿、二井田地区が99.5%』

納税貯蓄組合の納付状況

市の徴収課では、このほど、昭和40年分(41年3月31日現在)の納税貯蓄組合の納付状況を取りまとめました。